

優れた実践事例に認定

県コンクリート診断士会

北陸で唯一

福井県コンクリート診断士会が取組んでいる「地域のコンクリート構造物の維持管理に貢献」

活動がこのほど、国土交通省の「グッドプラクティス（インフラを支える優れた実践事例）」に北陸3県で唯一認定された。地元自治体への技術支援として、福井県橋梁長寿命化修繕計画策定委員会などへの派遣、自治体の橋梁定期点検やコンクリート火災後対応のマ

ニユアルの策定協力、自治体職員向け講習会の開催や講師の派遣などが評価された。

同会は、既設コンクリート構造物の診断や維持管理を担う「コンクリート診断士」と呼ばれる技術者で構成され、04年3月に全国に先駆け発足。コンクリート構造物の維持管理の重要性が増すなかで、同会が果たすべき社会的役割や社会的責任も大きくなっている。

これまで地元自治体や大学などと連携して、維持管理に積極的に関わっており、県内のコンクリート診断士の登録者数も人口比で全国第二位。

全国のコンクリート診断士会のなかでも、もっとも活発に活動を行っており、地元自治体との連携を軸にした地域密着型の活動は、他の地区の診断士会にはない、大きな特長で、県外からの視察も多い。